

取扱説明書

このたびはDXアンテナ製品をお買い上げいただき、ありがとうございます。

DXアンテナの製品を正しく理解し、ご使用いただくために、ご使用前に必ずこの取扱説明書をよくお読みください。お読みになった後は、いつでも見られるところに必ず保存してください。



DIGITAL

UHFオールチャンネル (ch.13~52) 対応

DIGICATCH Flat

地上デジタル放送用平面アンテナ

[水平偏波専用、出力75Ω (F形座) 仕様]

オフホワイト

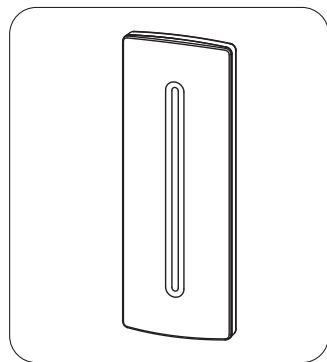
ライトブラウン

ブラックブラウン

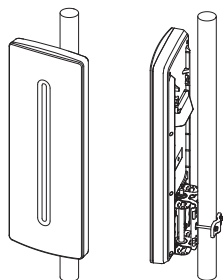
UAH810

UAH810L

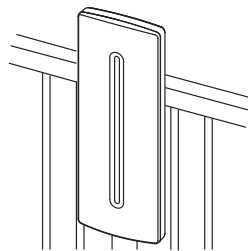
UAH810B



マストや角柱に取り付けるとき
φ22~49mmのマスト、□30~45mmの
角柱に取り付ける場合



ベランダに取り付けるとき

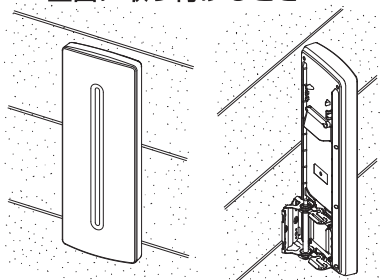


- 取付に必要なもの
- ・同軸ケーブル
 - ・ケーブル加工用カッター等
 - ・ (+) ドライバー
 - ・落下防止用ひも
 - ◆必要に応じて準備するもの
 - ・壁面取付用の木ネジや
コンクリートアンカー

イラストはマストで代用していますが、
角柱の場合も同様に取付けてください。

まず最初に背面の壁面・マスト取付金具を本体からはずしてお使いください

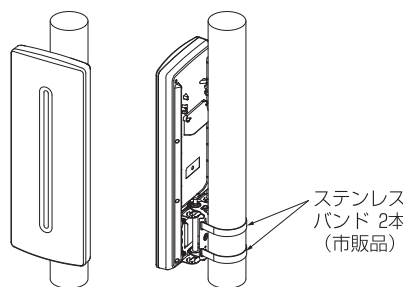
壁面に取り付けるとき



(注) 壁面取付時には壁面に穴が開きます。取付前に設置したい場所で
地上デジタル放送が全チャンネル受信できることをテレビなどで
確認してください。

ステンレスバンドで取り付けるとき

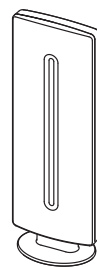
φ50mm以上のマストや自営柱などに取り付ける場合



ステンレス
バンド 2本
(市販品)

スタンドで使用するとき

屋内に設置する場合



製品の特長

- 従来の家庭用20素子アンテナと同等の高性能な地上デジタル放送受信用平面アンテナです。(※)
- 新形取付金具の採用で、アンテナ方向調整後は、ボルト1本で固定できます。
- 取付金具は、壁面だけでなくマスト(φ22~49mm)や角柱(30×30mm~45×45mm)、市販のステンレスバンドにも対応した
多用途設計で、アンテナの突出をおさえた設置が可能です。
- 水準器を付属していますので壁面金具取り付け時垂直出しが簡単におこなえます。
- 屋外、屋内のそれぞれの設置に対応しています。(この製品は水平偏波受信専用です。)
- 樹脂ケースで覆われたアンテナ部には直接の積雪がなく、性能劣化が少ない構造です。
- 先端加工不要で抜け落ち防止の防水キャップを採用し、取り付けが容易です。
- 土壌汚染・大気汚染など環境に影響を与える物質や人体に悪影響を及ぼす物質を使用しない事など厳しい自社基準をク
リアーした製品です。

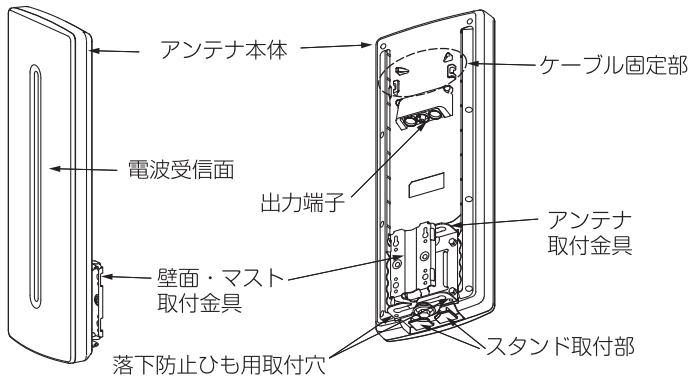
(※) JEITAのデジタルハイビジョン受信マーク制度『区分D1』に登録されました。『区分D1』とは、放送電波の強い条件下で使用でき、アンテナ素子が樹脂等で覆われている、屋外に設置可能なアンテナに対する規格です。

- 組み立て、取付作業は、この取扱説明書をよくお読みのうえ行なってください。
- 強風の時や、雨や雪など天候の悪いときは危険ですから、取付作業は行わないでください。
- アンテナを落としたり、ぶつかけたり、無理な力を加えることのないよう注意してください。
- 壁面やマスト、ベランダ等に取り付ける場合、設置場所の強度に注意し、また長期にわたり台風などの強風に耐えうるよう指定のトルクがある場合、指定のトルクで固定し、落下、転倒しないよう安全性と信頼性を十分に考慮してください。

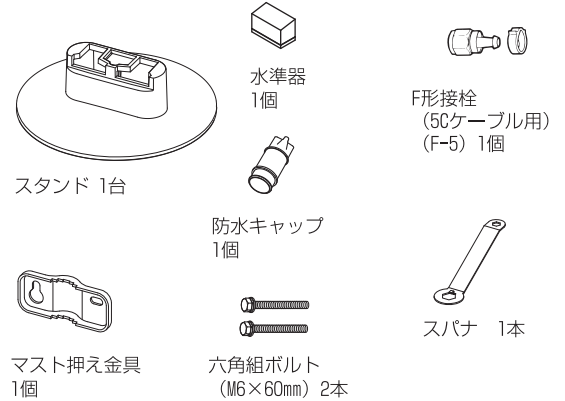
各部の名称

アンテナ正面

アンテナ背面

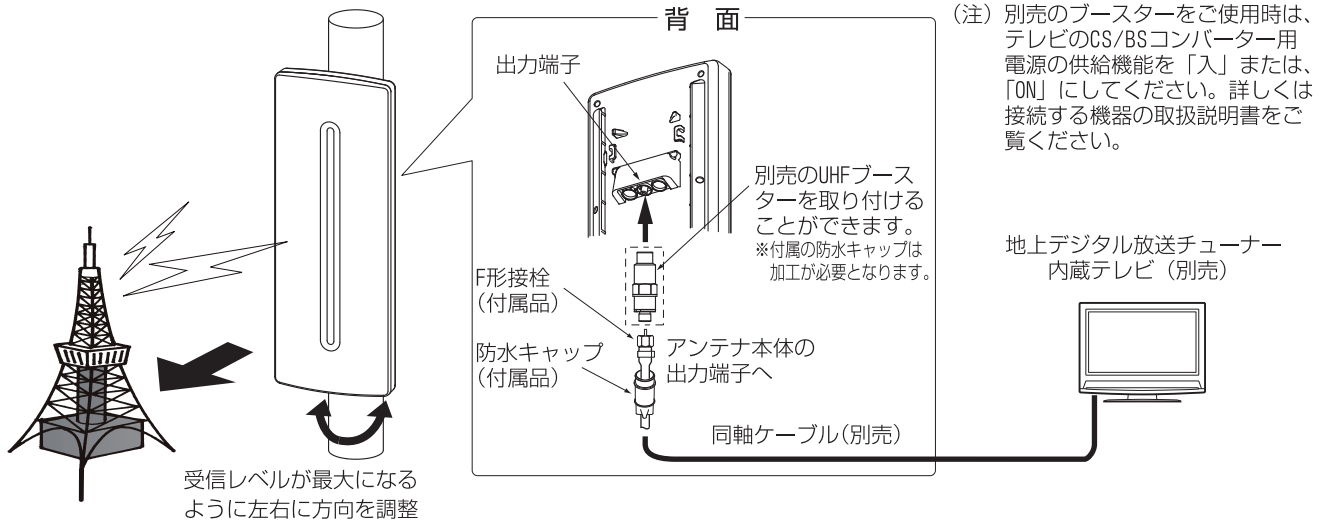


付属品

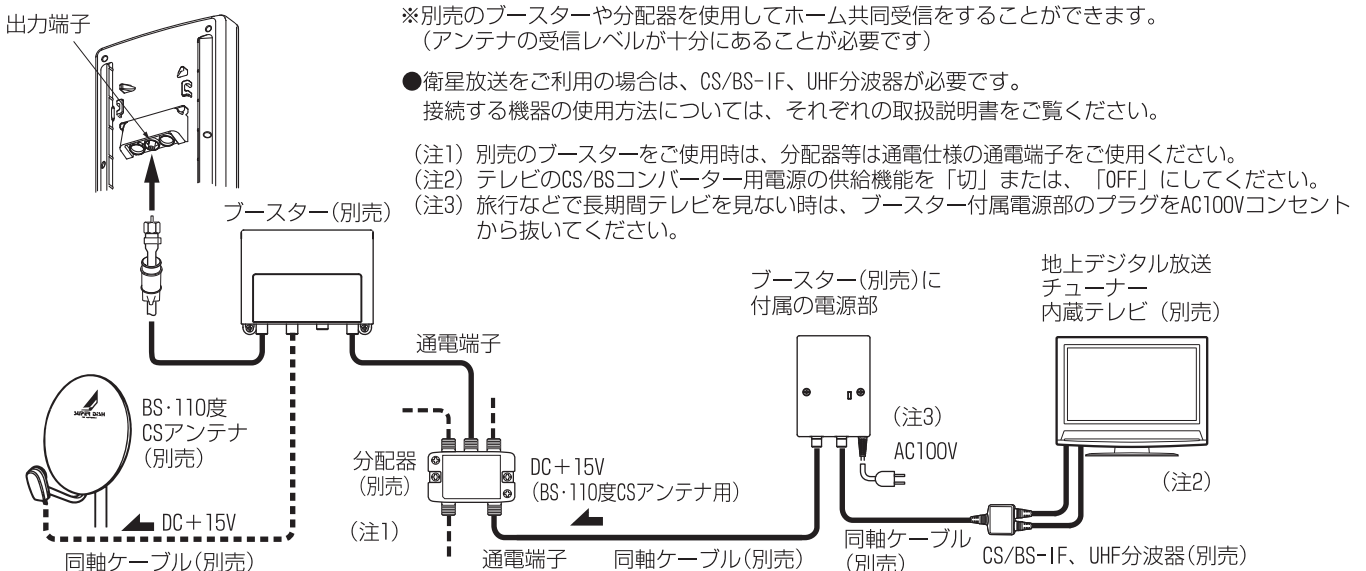


使用例

<テレビに接続する場合の例>



<ブースターを使用する場合の例>



※別売のブースターや分配器を使用してホーム共同受信をすることができます。(アンテナの受信レベルが十分にあることが必要です)

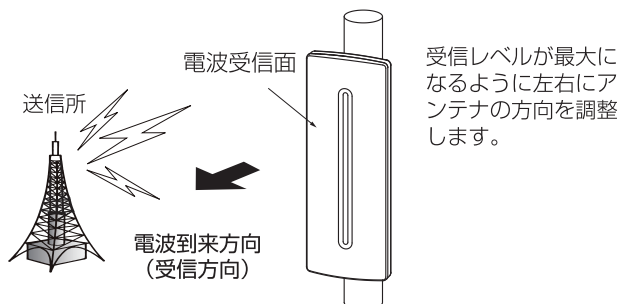
- 衛星放送をご利用の場合は、CS/BS-1F、UHF分波器が必要です。接続する機器の使用方法については、それぞれの取扱説明書をご覧ください。

(注1) 別売のブースターをご使用時は、分配器等は通電仕様の通電端子をご使用ください。
 (注2) テレビのCS/BSコンバーター用電源の供給機能を「切」または、「OFF」にしてください。
 (注3) 旅行などで長期間テレビを見ない時は、ブースター付属電源部のプラグをAC100Vコンセントから抜いてください。

2 受信偏波とアンテナの向き

- 受信する電波の到来方向（地上デジタル放送の送信所の位置）と電波が水平偏波か垂直偏波か偏波面を確認します。お買い求めの販売店にお問い合わせください。下記のwebサイトでも確認することができます。
- (注)この製品は水平偏波専用です。垂直偏波は受信できません。

〈アンテナの向き〉 アンテナ本体の出力端子が下向きになるように取り付けてください。



受信電波についてはwebサイトで確認することができます。

- 社団法人 デジタル放送推進協会 [Dpa] のホームページをご覧ください。
<http://www.dpa.or.jp/> 「地デジの放送エリアのめやす」
- 総務省 各地域の総合通信局のホームページをご覧ください。
(弊社のホームページ <http://www.dxantenna.co.jp/> / リンク集に「行政・各地方総合通信局」がございます。ご利用ください。)

アンテナの取付方法

平面アンテナの設置作業を始めるまえに、受信する電波の到来方向を確認して、受信できる設置場所をお選びください。

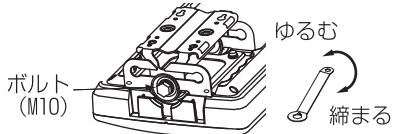
マスト/角柱取付時、ベランダ取付時は「手順1」へ進んでください。

ステンレスバンド取付時や壁面取付時またはスタンドを使用するときは「手順2」へ進んでください。

手順1 壁面・マスト取付金具のボルトを締め、マスト押え金具でアンテナを取り付けます。ベランダ取付時は先にアンテナの角度を調整してください。「5 アンテナの方向調整」参照

適合マスト/角柱
マスト：直径22~49mm
角 柱：30×30mm~45×45mm

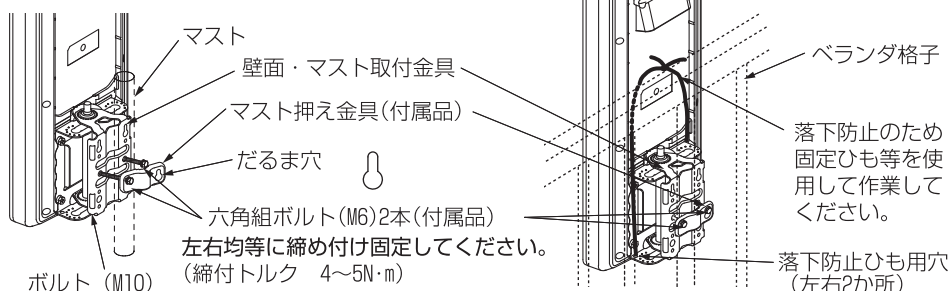
- ①壁面・マスト取付金具上下のツブツブの嵌合(はめ合わせ)を確認し、底面のボルトを締めます。
(締付トルク 9~10N・m)



- ②六角組ボルト2本でマスト押え金具を壁面・マスト取付金具に取り付けます。だるま穴の広い方にボルト頭を入れ、マストや角柱、ベランダを挟みます。
- ③マスト押え金具の六角組ボルトを締め付け固定します。

〈マスト/角柱に取り付ける場合〉

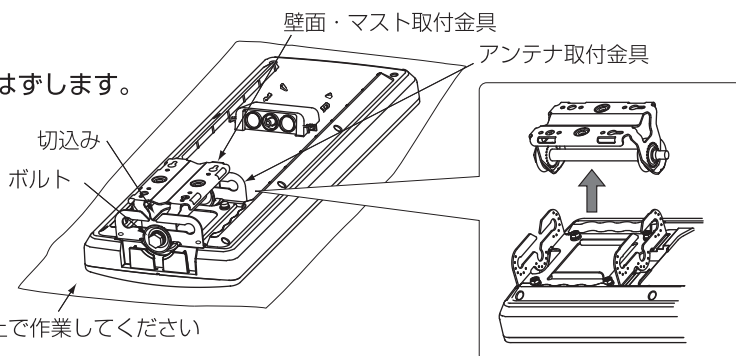
〈ベランダ格子に取り付ける場合〉



「4 本体へのアンテナケーブルの接続方法」へ進んでください。

手順2 アンテナ背面から壁面・マスト取付金具を取りはずします。

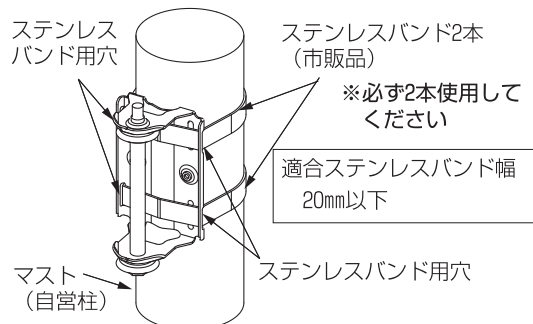
- ①ボルトをゆるめます。
- ②壁面・マスト取付金具をまっすぐ引きます。
- ③壁面・マスト取付金具をアンテナ取付金具の切り込み方向にずらし、取りはずします。
(取付金具は保管しておいてください。)



ステンレスバンド取付時は「手順3」へ、壁面取付時は裏面の「手順4」へ、スタンドを使用するときは「手順6」へ進んでください。

手順3 付属の壁面・マスト取付金具を固定し、その後アンテナ本体を取り付けます。

〈ステンレスバンドで取り付ける場合〉



(ご注意)

- ・屋外使用では、設置場所に固定するため、取付時に壁面などに穴が開いたり、ベランダや柱にきずがつきます。アンテナ取付前に設置したい場所で地上デジタル放送が全チャンネル受信できることをテレビなどで確認してください。

「手順5」へ進んでください。

3 アンテナの取付方法のつづき

平面アンテナの設置作業を始めるまえに、受信する電波の到来方向を確認して、受信できる設置場所をお選びください。

手順4 付属の壁面・マスト取付金具を固定し、その後アンテナ本体を取り付けます。

〈壁面に取り付ける場合〉

- ①木ネジ(呼び径4.8~5.1mm)またはタッピンネジ(呼び径5mm)2本を60mm間隔でネジ頭が3mm程度出た状態に取り付けます。
- ②壁面・マスト取付金具(Aの穴)を引っ掛けます。
- ③付属の水準器で水平になるよう角度をあわせ、①のネジを締め付けて壁面・マスト取付金具を固定します。金具取り付け後は水準器をはずしてください。

ポイント

アンテナ本体取付後はアンテナの傾きは修正できません。付属の水準器を使い水平に金具を取り付けてください。



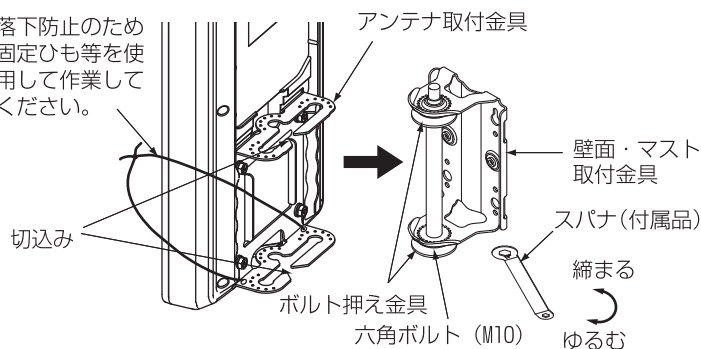
- ④壁面・マスト取付金具を上下左右均等に合計8か所、取付ネジで壁面にしっかりと固定します。

「手順5」へ進んでください。

手順5 固定した壁面・マスト取付金具にアンテナ本体を取り付けます。

- ①固定した壁面・マスト取付金具とボルト押え金具の間にアンテナ取付金具の切込みを合せ、両方の金具が平行になるようにアンテナ取付金具を差し込みます。
- ②六角ボルト(M10)がアンテナ取付金具の穴にはまったところで、ボルトを付属のスパナで仮止めします。

落下防止のため固定ひも等を使用して作業してください。



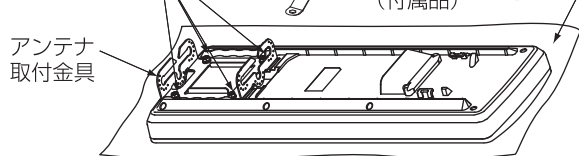
「4 本体へのアンテナケーブルの接続」へ進んでください。

手順6 アンテナ背面からアンテナ取付金具を取りはずします。(取付金具は保管しておいてください。)

〈スタンドを取り付ける場合〉

- ①取付金具固定ボルト(4か所)を付属のスパナでゆるめ、アンテナ取付金具をはずしてください。

取付金具固定ボルト(4本) スパナ(付属品) アンテナが傷つかないように布等の上で作業してください

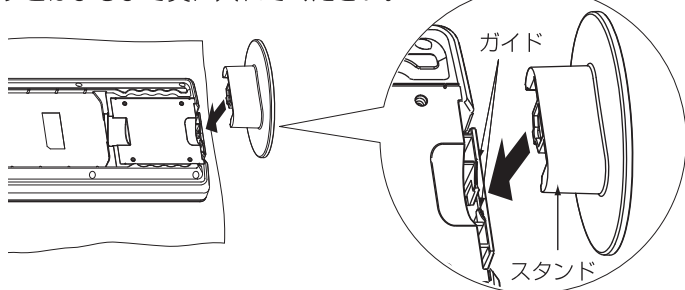


※スタンドを使用するときは必ず取付金具をはずしてください。

- ②スタンドを取り付けます。

〈スタンドの取付け〉

アンテナ底面のスタンド取付部のガイドに沿うように、スタンドをアンテナの背面側からはめ込みます。スタンドのストッパーがカチッと合まるまで奥に入れてください。



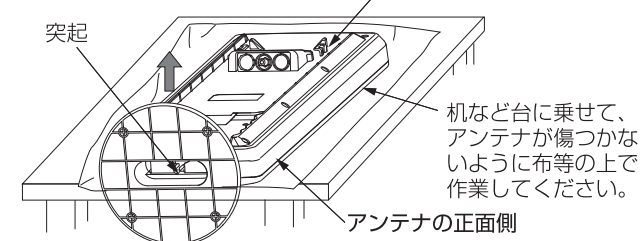
転倒防止のために

- 次のような所に設置してください。
- 水平な場所
 - 接地面がかたく、安定した場所
 - 振動がない場所
 - ◆カーペット、敷布の上など接地面が軟らかい、不安定な所や万一地震等で倒れたときにけがする恐れのある就寝場所の近くなどに設置しないでください。
 - ◆この製品の上に物を置かないでください。

〈スタンドの取りはずし〉

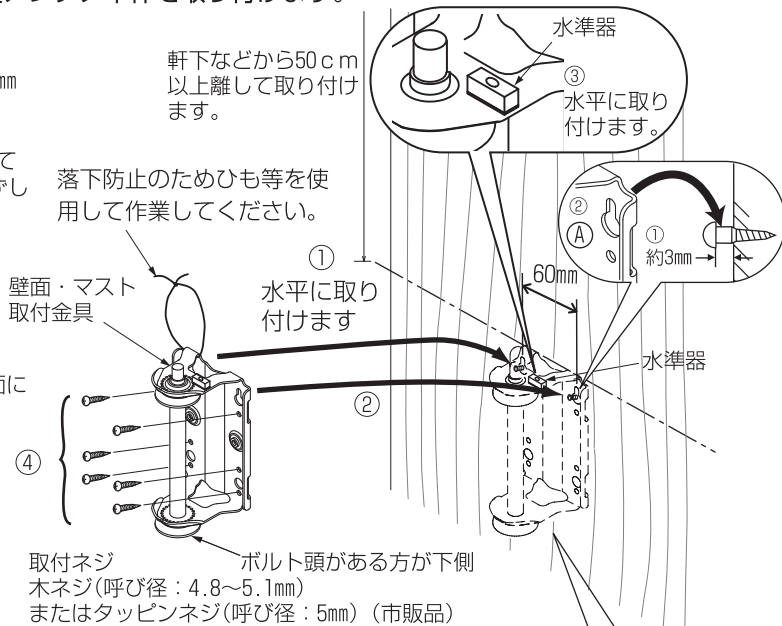
スタンド底面の突起をアンテナ側に押しながら、スタンドをアンテナ背面側にずらすとストッパーがはずれます。

突起を押しながら背面側にずらす

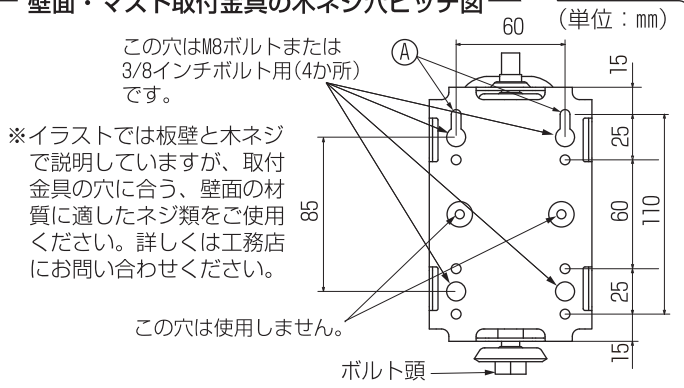


机など台に乗せて、アンテナが傷つかないように布等の上で作業してください。

「4 本体へのアンテナケーブルの接続」へ進んでください。



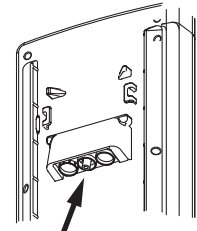
壁面・マスト取付金具の木ネジ穴ピッチ図



4 本体へのアンテナケーブル（別売）の接続方法

〈屋内で使用する場合〉

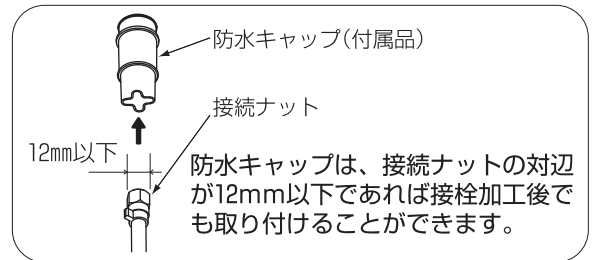
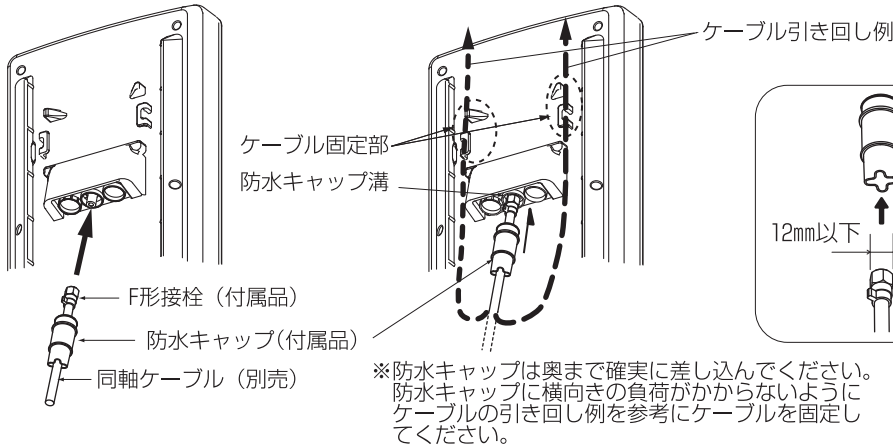
- 屋内では、付属の防水キャップを使用する必要はありません。
 - アンテナ本体に付属のF形接栓を接続した同軸ケーブル（別売）、または別売のF形接栓加工済同軸ケーブルを接続します。
- (注) ●接続後は、引っ掛けないように同軸ケーブルの引き回しに注意して配線処理をしてください。
- 差し込みプラグの場合、長期間使用すると自然に抜け落ちることがありますので、時々接続状態を確かめてください。



F形接栓（付属品）
接続済同軸ケーブル（別売）
プラグ付同軸ケーブル（別売）

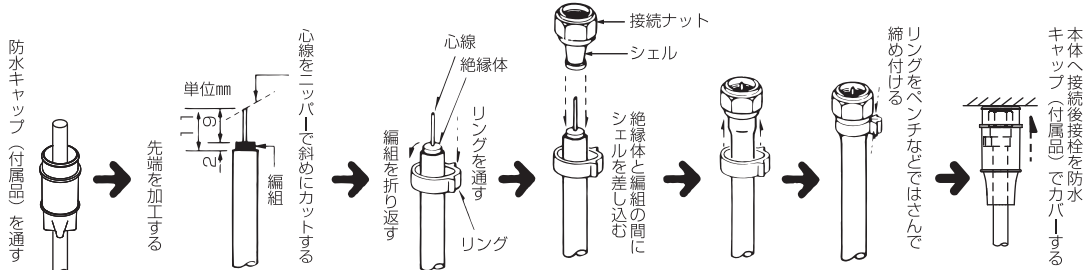
〈屋外で使用する場合〉

- 同軸ケーブルは4Cまたは5Cケーブルをご使用ください。接栓は同軸ケーブルに合わせた製品をご使用ください。
- F形接栓付同軸ケーブルをアンテナの出力端子にしっかりと確実に接続してください。（接栓締付トルク 2N・m）
- 防水キャップは溝の奥まで確実に差し込んで、接栓部を雨水などから保護してください。



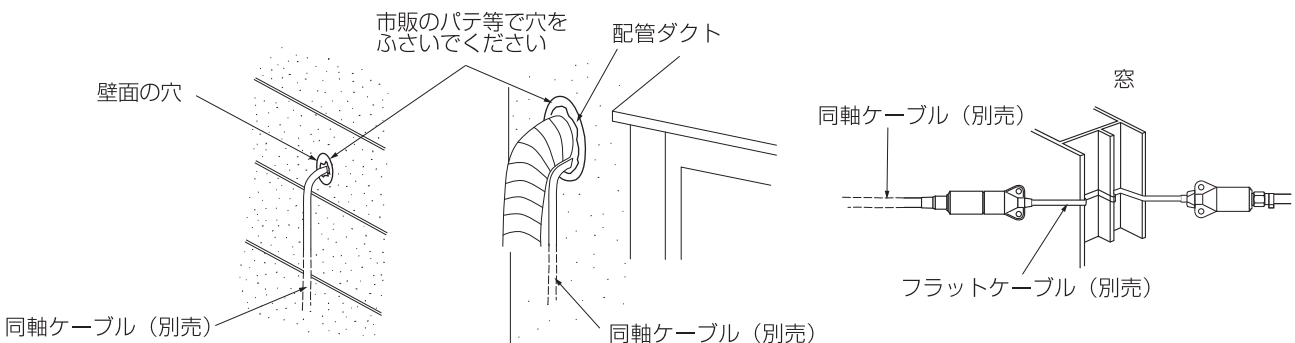
付属のF形接栓（F-5）へのアンテナケーブルの接続方法

5C相当同軸ケーブル（5C-2V）に付属のF-5接栓（5C同軸ケーブル用接栓）を取り付ける場合の加工例です。
※接栓加工後であっても接続ナットの対辺が12mm以下であれば、付属の防水キャップを取り付けることができます。



- 接栓は使用する同軸ケーブルに適したF形接栓をご使用ください。
- 同軸ケーブルの先端を加工する場合、心線・編組に傷をつけたり、指定された加工以外の加工をすると断線やショート、機器の破損の原因になりますのでご注意ください。また心線と編組は、絶対に接触しないようご注意ください。
- 設置した後で抜いたりしないように、同軸ケーブルのリングはしっかりと締めてください。
- 接栓を取り付けた同軸ケーブルの心線は、曲がっていないかを確認し、曲げないように接続してください。（接栓締付トルク 2N・m）

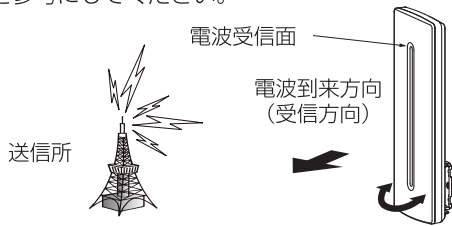
屋内へのケーブルの引込方法



5 アンテナの方向調整

アンテナの方向調整は、実際に電波を受信して行いますので、一度仮にアンテナと地上デジタルチューナー内蔵テレビを接続してください。テレビのアンテナ設定等を確認しながら、受信レベルが最大になるように平面アンテナの方向を調整します。

- ①平面アンテナを左右に動かし、受信レベルが最大になるようにアンテナの角度を調整します。「取付金具の位置図」を参考にしてください。

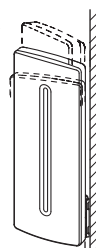


※受信レベルの表示は、ご使用のテレビの取扱説明書「アンテナ設定」などの項目をご覧ください。

<受信レベルの表示例>



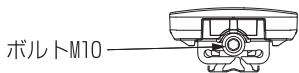
- ②アンテナ側面が壁面から1cm以上離れていることを確認してください。



(注) 1cm以上離します (手を挟まないようにご注意ください。)

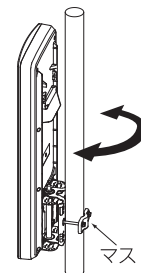
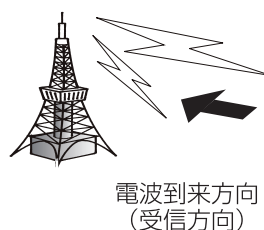
- ③取付金具底面のボルトを上下の軸位置がずれていない(ツブツブどうしをはめ合う)ことを確認し、しっかりと強固に固定します。

アンテナを真下から見た図



ボルトM10

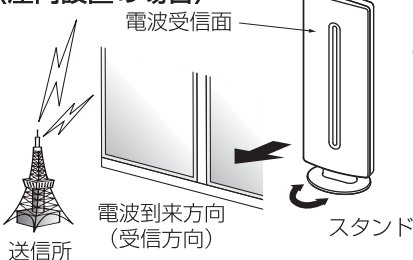
締付トルク
六角ボルト (M10)
9~10N・m



※マスト取付時はマスト押え金具のボルトをゆるめて、マスト押え金具からアンテナまでの全体を回して角度調整することもできます。

マスト押え金具

<屋内設置の場合>




●屋内で使用する場合は、スタンドを利用して良好な受信ができるようにアンテナの方向を調整します。

ポイント

窓際などでアンテナの向きをいろいろかえながら最も良く受信できる向きを探してください。屋内に設置して良好な受信ができない場合は、スタンドを使用せず屋外設置(ベランダやポール取付など)してください。

<こんなときは>

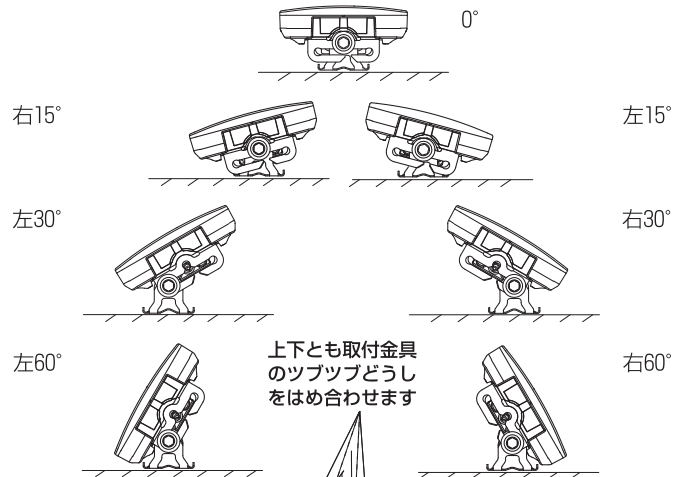
平面アンテナの方向は、実際に電波を受信して、地上デジタルチューナー内蔵テレビや地デジチューナーのアンテナ設定等を確認しながら、受信レベルが最大になるように調整します。地上デジタルチューナー内蔵テレビや地デジチューナーのアンテナ設定のレベル値に異常がある場合は、次のことをご確認ください。受信レベルは60~90dB μ Vが目安です。アンテナレベルの目安はご使用の地上デジタルチューナー内蔵テレビや地デジチューナーの取扱説明書をご覧ください。

症状	チェック項目	対策
チューナーやテレビのアンテナ設定で、レベルが低い テレビ画面にブロックノイズがでる <ブロックノイズのテレビ画面> 	電波到来方向にアンテナが向いていますか? 電波到来方向に障害物がありませんか?	ご購入店でお住まい地域の送信局を問い合わせるなど電波到来方向(送信所の方向)を確認してください。近隣の建物等に反射した電波を受信できることもあります。 障害物のない状態で受信してください。障害物を避けられない場合でも、アンテナの高さを50cm~1mくらい変化させると改善することがあります。アンテナの設置位置を変化させてみてください。
	電波が弱い	電波が弱すぎる場合は受信できません。

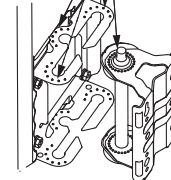
取付金具の位置図

アンテナと取付金具を図のような角度で固定することで、アンテナをより安定させ、壁面からの突出が少ない省スペース設置ができます。

真下から見たときのアンテナと取付金具の角度



方位角調整範囲
ボルト位置は金具の
左端 30~60度
中央 0~±15度
右端 30~60度



真下からのアンテナ取付金具



ボルト固定位置(3か所)

必ず3か所のいずれかで固定

安全上のご注意



△記号は注意（危険・警告を含む）を促す内容があることを告げるものです。
図の中に具体的な注意内容（左図の場合は警告または注意）が描かれています。



⊘記号は禁止の行為であることを告げるものです。
図の中や近くに具体的な禁止内容（左図の場合は接触禁止）が描かれています。



●記号は行為を強制したり指示する内容を告げるものです。
図の中に具体的な指示内容（左図の場合は注意して行なってください）が描かれています。



警告

この内容を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

- アンテナ工事およびテレビ受信関連工事には技術と経験が必要ですので、お買い上げの販売店もしくは工事店にご相談ください。



- 次のような場所には設置しないでください。

<アンテナ>

- ・送配電線、ネオンサイン、電車の架線や電話線などの近く
アンテナが倒れた場合、感電、断線の原因となります。
- ・人や車両の通行の妨げになる場所
人がぶつかったり、車両が接触してけがや破損の原因となります。
- ・地盤の弱い場所、強度の弱い場所、不安定な場所、ぐらついたり振動する場所や傾いた場所
落ちたり、倒れたりして、けがの原因となります。
- ・煙突の付近や高温になる場所
火災の原因となります。



- 設置やお手入れ、点検をする際には、次のことにご注意ください。

- ・高所などでは、足場と安全を確保し、作業時は手袋をするなど安全対策を行なってください。
落ちたり、すべったりしてけがの原因となります。
- ・組み立てや取り付けのネジやボルトは、締め付け力（トルク）に指定がある場合はその力（トルク）で締め付け、堅固に固定してください。
落ちたり、倒れたりして、けがの原因となります。
- ・風の強い日や雨、雪、霧などの天候が悪い日や暗い所では、危険ですから設置工事やお手入れ、点検をしないでください。
落ちたり、倒れたりしてけがの原因となります。
- ・アンテナの部品や工具類を高い所から落とさないでください。
けがの原因となります。アンテナ部品や工具類をひもで結ぶなど落下防止に留意して作業してください。
- ・アンテナのケースを開けたり、分解して内部に触れないでください。
感電やけがの原因となります。内部の点検・調整・修理は販売店もしくは工事店にご依頼ください。



- 雷が鳴り出したら、アンテナやケーブルには触れないでください。
感電の原因となります。



- この製品に接続する同軸ケーブルには、テレビ電波以外に電流が流れることがあります。電源コードや同軸ケーブルなどを傷つけたり、破損したり、加工したり、無理に曲げたり、ねじったりしないでください。また、重いものをのせたり、加熱したり、（熱器具に近づけたり）引っぱったりしないでください。火災・感電の原因となります。電源コード、同軸ケーブルなどが傷んだときは（心線の露出、断線など）お買い上げの販売店もしくは工事店に交換をご依頼ください。そのまま使用すると火災・感電などの原因となります。



注意

この内容を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

- 台風の後や積雪の後などは、アンテナや取付装置に緩みや異常が生じることがあります。そのままにすると破損したりして、けがや故障の原因となることがあります。点検はお買い上げの販売店または工事店にご依頼ください。



- アンテナや取付装置などに洗濯物や他の物品を掛けたりしないでください。
また、上に乗らないでください。
倒れたり、破損したりして、けがの原因となることがあります。



- マンションやアパートなどによっては、取り付けに規制のあるところがあります。管理組合、管理事務所、自治会などに必ずご確認のうえ、取り付けてください。



使用上のご注意

- 地上デジタル放送を受信するためには、一定以上の受信レベルが必要です。電波の弱い場所や周囲に電波を遮ったり、反射するような障害物のある場所など受信レベルが低い場所では、地上デジタル放送がまったく受信できないかまたは時々ブロックノイズがでるなど不安定な受信状態になることがあります。
- 屋外で設置の場合、アンテナは電波到来方向の障害物をさけるように、できるだけ高い位置に設置してください。（一般的にアンテナの設置位置が高くなるほど受信レベルが良くなります。）
- 屋内で使用していて受信状態が不安定な場合は、アンテナを屋外に設置してください。
- アンテナを設置するとき、ネジ類はスパナなど工具を用いて、しっかりと締め付けてください。
- アンテナはいつも正しい方向に向いているようにご注意ください。
- このアンテナに多量に雪が積もった場合、雪の重みでアンテナが破損する恐れがあります。雪はこまめに払い落としてください。その際、安全には十分注意してください。
- 付属品のスタンドは屋内でのみ使用してください。
- この製品に電源(DC15Vなど)は供給しないでください。故障の原因となります。

規格特性

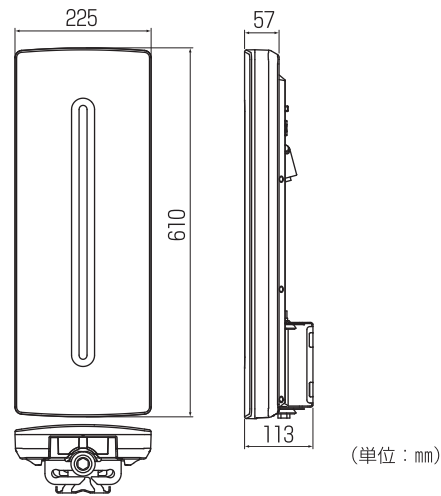
品名	UHF平面アンテナ
品番	UAH810, UAH810L, UAH810B
受信周波数 (MHz)	470~710(ch.13~52)
偏波面	水平
インピーダンス (Ω)	75 (F形)
利得 (dB)	7.8~9.7(標準値)、7.5~9.7(規格値)
V S W R	2.5以下
前後比 (dB)	10以上
半値幅 (°)	84以下
耐風速 (m/s)	45 (注1)
適合マスト径 (mm)	マスト: φ22~49 角柱: 30×30~45×45 ステンレスバンド(市販品)使用時: φ50以上
方位角調整範囲 (°)	±60(壁面取付時)
寸法 (mm)	610(H)×225(W)×113(D)(壁面取付時)
質量 (kg)	1.7(アンテナ部)、0.8(取付金具)

(注1) 耐風速は破壊風速です。

規格は改良により、変更させていただくことがありますのであらかじめご了承ください。

※この製品を処分するときは、地方自治体のルールに従って処理してください。

外形寸法図



DHマーク(デジタルハイビジョン受信マーク)は、(社)電子情報技術産業協会が審査・登録された一定以上の性能を有する衛星アンテナ、UHFアンテナ、受信システム機器に付与されるシンボルマークです。

保証書

品番		UAH810,UAH810L,UAH810B	
ご住所・ご店名	電話()		
お名前	ふりがな	様	
ご住所	〒	電話()	
お買上年月日	保証期間	お買上日から	1年間

※本書は再発行いたしませんので、紛失しないよう大切に保管ください。

●無料修理規定

1. 本保証書は、お買い上げから下記保証期間内に故障した場合、無料修理規定により、当社が責任をもって無料修理を行なうことをお約束するものです。(ヒューズ、電池、ケーブル、接栓などの消耗部品は除く)したがって、この保証書によって保証書を発行しているもの(保証責任者)、およびそれ以外の事業者に対するお客様の法律上の権利を制限するものではありません。
2. 保証期間中の修理などアフターサービスについてご不明な場合は、お買い求めの販売店、当社カスタマーセンターまたは当社営業所にお問い合わせください。なお、商品を直接当社へ送付した場合の送料などはお客さまのご負担とさせていただきます。また、保証期間経過後の修理についても、お買い求めの販売店、当社カスタマーセンターまたは当社営業所にご相談ください。修理によって機能が維持できる場合は、ご要望により有料修理させていただきます。
3. 保証期間中、取扱説明書、本体貼付ラベルなどの注意書に従った正常な使用状態で故障した場合には、お買い求めの販売店を通じて無料修理いたしますのでお申しつけください。
4. 次のような場合には保証期間内でも有料修理となります。
 - ①ご使用上の誤り、および不当な修理や改造による故障および損傷。
 - ②お買い上げ後の取り付け場所の移設、輸送、落下などによる故障および損傷。
 - ③火災、地震、噴火、洪水・津波などの水害、落雷、その他の天変地異、戦争・暴動による破壊行為、公害、塩害、ガス害、ねずみや昆虫、鳥など動物の行為による損傷、指定以外の使用電源(電圧、周波数)や異常電圧による故障および損傷。
 - ④塗装の色あせなどの経年劣化や、使用に伴う摩擦などにより生じる外観上の現象。
 - ⑤用途以外(例えば車両、船舶への搭載など)に使用された場合の故障および損傷。
 - ⑥本保証書を提示・添付されていない場合。
 - ⑦本保証書にお買い上げ年月日、お客様名、お買い求めの販売店の記入のない場合、または字句を書き換えられた場合。
5. 本保証書は日本国内においてのみ有効です。(This Warranty is valid only in Japan.)
6. 期間中の転居、贈答品、その他の理由によりお買い求めの販売店に修理が依頼できない場合には、当社カスタマーセンターまたは当社営業所にご相談ください。
7. お客様にご記入いただいた保証書の控えは、保証期間中のサービス活動およびその後の安全点検活動のために記載内容を利用させていただく場合がございますので、ご了承ください。

カスタマーセンター ☎ 0120-941-542

ホームページアドレス <http://www.dxantenna.co.jp/>

(受付時間 9:30~12:00/13:00~17:00 土曜・日曜・祝日および夏季・年末年始休暇は除く) 携帯電話・PHS・一部のIP電話で上記番号がご利用にならない場合 03-4530-8079

DXアンテナ株式会社